

2024年7月19日

各位

会社名 AIAIグループ株式会社

(コード番号 6557 東証グロース)

代表者名 代表取締役社長兼CEO 貞松 成

問合せ先 取締役CFO 戸田 貴夫

T E L 03-6284-1607

U R L <https://aiai-group.co.jp/>

ストームハーバー証券株式会社との業務協力に関する覚書締結のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、ストームハーバー証券株式会社（以下、「ストームハーバー証券」といいます。）との間で業務協力に関する覚書を締結することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業務協力の理由

(1) 当社グループの成長戦略及び今後の方針

当社は、「社会課題を解決し、世の中に貢献する」の経営理念のもと、「人口問題の解決」のビジョンを掲げ、首都圏及び大阪府において認可保育施設 AIAI NURSERY 及び児童発達支援施設 AIAI PLUS を運営するほか、特に療育サービスへのニーズの高まりを踏まえ、2024年9月からは新たな保育所等訪問支援サービスとして「AIAI VISIT」を展開する予定であるなど、一層のサービス拡大を進めております。

当社グループは、2023年5月19日付公表の「AIAIグループ中期経営計画2023～2025」及び2024年5月17日付公表の「事業計画及び成長可能性に関する事項」に記載のとおり、保育・療育・教育の3つの「育」を一体的に提供する「AIAI 三育圏」を展開し、当社グループにおける事業相互間のシナジー効果の最大化に取り組んでおります。具体的には、以下の取り組みを推進しております。

① AIAI NURSERY の基盤維持・拡大

豊富なノウハウを有する認可保育分野は、当社グループの売上・利益の基盤であり、今後も高いニーズと投資対効果が見込めるエリアに絞って出店を継続してまいります。

② AIAI 三育圏「保育×療育」分野

AIAI PLUS との連携を強化し、発達に特徴のある子どもに対して効果的なサポートを提供しております。2024年9月からは新たな保育所等訪問支援サービスとして「AIAI VISIT」を展開する予定です。

③ AIAI 三育圏「保育×教育」分野

小学校へのスムーズな就学をサポートするため、株式会社 CHaiLD において効果的な幼児教育プログラムを展開しております。幼児教育プログラムは、毎年実施している保護者アンケート結果をもとに、思考教育、知識教育、運動教育を保育カリキュラムに取り入れ、差別化を推進しております。

④ コーポレート関連

財務体質の強化に向けて引き続き利益の積み増し等を進めているほか、人的資本面においては、健康経営優良法人2024の認定を受けるとともに、キャリアアップの支援を継続的に実施しております。

以上のとおり、当社グループは、今後、多様な子どもの成長ニーズに応えるサービス提供をさらに強化するとともに、事業相互間のシナジーを一層強化し、さらなる収益力の強化を図ってまいります。

具体的には、既存事業における自前出店及び人的資本投資を継続するとともに、新規事業 AIAI VISIT へ積極的に投資する方針です。

また、AIAI 三育圏の範囲の拡大に資する同業他社等をターゲットとして、M&A又は戦略的提携についても積極的に検討を進める方針です。

(2) 本業務協力の目的・背景

上記のような今後の当社の持続的成長のためには、多方面において専門的パートナーとの協業を進めていくことが必要不可欠であります。今般、ストームハーバー証券との本業務協力に基づき、両社それぞれが有するリソースの連携やノウハウ及びネットワークの相互活用を行うことによって、当社グループにおけるM&A戦略を強化し、新たなM&Aスキーム及びM&Aに伴う資金調達スキーム等を考案・構築することを企図しております。

ストームハーバー証券は、2009年に設立されたグローバルな金融市場に精通した独立系投資銀行です。同社の事業領域は、金融商品の仲介やアドバイザリー業務といった一般的な投資銀行業務にとどまらず、国内又は海外の機関投資家引受によるエクイティファイナンスやM&A・資本業務提携等のアドバイザリーのほか、ファンド及び金融商品の組成、マーケットリスクヘッジ戦略の策定、スタートアップ及び未上場企業の資金調達支援など多岐にわたっております。

同社は、顧客企業の軍師・参謀として、スキームや戦略の立案・構築から実務面のプロセス等も含め、企業価値向上のためのテラーメイドの財務戦略・資本政策全般に関するアドバイザリー業務を幅広く展開しております。

2022年6月15日付公表の「第三者割当による第6回新株予約権、第7回新株予約権及び第8回新株予約権（固定行使価額型）の発行に関するお知らせ」に記載のとおり、当社は、第6回・第7回・第8回新株予約権の発行について、ストームハーバー証券を当社の財務アドバイザーとして起用しており、本資金調達を含む財務戦略・資本政策全般に関する情報提供・助言等を頂いております。

今般、ストームハーバー証券との本業務協力に基づき、同社の豊富な市場経験に基づく専門的知見・ノウハウ及びグローバルなネットワーク等を活用することによって、当社グループにおけるM&A戦略をさらに強化し、新たなM&Aスキームの検討や、当社のみでは取組困難なM&A案件等についても、今後積極的に検討していくことを視野に入れております。さらに、これまでの同社の実績から、国内又は海外の機関投資家・ファンド・協業パートナーの紹介や、当社の財務戦略・資本政策全般に関するアドバイス等も期待できるなど、事業上のシナジーが高いことから、このたび、当社が有する専門的知見・ノウハウ及びグローバルなネットワークは、当社グループの事業規模の拡大及び企業価値の向上に寄与するものと判断し、改めて当社との業務協力に関する覚書を締結することといたしました。

2. 業務協力の内容等

- (1) M&A案件の紹介・情報提供
- (2) M&Aスキームの考案・構築
- (3) M&A戦略及び手続き全般に関するアドバイス又はセカンドオピニオンの提供
- (4) M&Aに伴う資金調達スキーム・リスクヘッジ戦略等の考案・構築
- (5) 共同プロジェクトに参画する投資家・金融機関・事業法人等の紹介
- (6) その他両社に有用な情報の相互提供

3. 業務協力の相手先の概要

(1) 名称	ストームハーバー証券株式会社	
(2) 所在地	東京都港区赤坂一丁目12番32号	
(3) 代表者	代表取締役社長 渡邊 佳史	
(4) 事業内容	金融商品取引業	
(5) 資本金	390,000千円	
(6) 設立年月日	2009年7月	
(7) 当社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	当該会社は、当社による第6回、第7回及び第8回新株予約権の発行に関し、当社の財務アドバイザーを務めております。

	関連当事者への 該 当 状 況	該当事項はありません。
--	--------------------	-------------

なお、当該相手先の概要のうち、大株主及び持株比率並びに最近3年間の財政状態及び経営成績につきましては、相手先より情報を入手していないため、非開示とさせていただきます。

4. 日程

(1) 取締役会決議	2024年7月19日
(2) 業務協力に関する覚書締結日	2024年7月19日

5. 今後の見通し

なお、本件が当社の業績に与える影響は軽微であります。今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以 上